

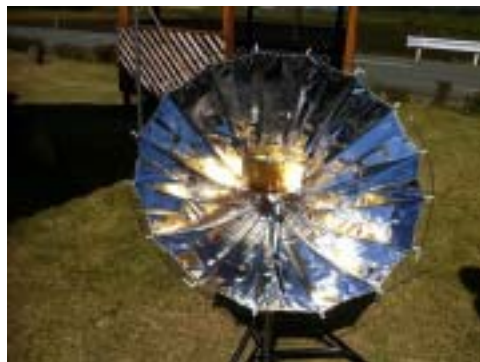
今年も残すところあと2か月。だんだん気ぜわしくなってきましたね。まだまだ黄金の秋を楽しみたいところ。やるべきことはたくさんあるのですが、敢えて目をつむって庭でお茶を飲んだり、ちょっとお散歩してみたり。本格的な冬が訪れるまでの一時を楽しんでいます。皆さまはどんな秋をお過ごしでしょうか。



昨年好評だった「こづみカフェ」を10月下旬に再び開催しました。...が、天候に恵まれず、あまり客足は多くはありませんでした。残念。でも、準備中は最高の秋晴れで、近所のおじさんに習いながら、ワラを束ねたり、「小積み」という昔ながらの方法でワラを積み重ねたり。営業期間中より、実はこの準備期間が楽しかったかも!? 「幸せはゴールではなく途中にある」というドイツの作家ミヒヤエル・エンデの言葉をおもわず思い出してしまいました。そんな中、バスに乗って保育園児たちが遊びに来てくれて大いに賑わいました。農家数が減っているので、

農村に住んでいたってワラで遊べることなんて滅多にないんです。せっせと運んだりよじのぼったりして、たっぷり楽しんでいった様子でした。やはり子供たちの歓声と笑顔が一番です。

今回のカフェで披露したアイテムは、「サニークッカー」(写真上)と「スマートスプリッター」(写真下)。サニークッカーは、太陽の熱でお湯を沸かしたり調理ができたりするもの。傘を逆さまにしたような作りで持ち運びも簡単。5分ほどで組み立てることができ、天気の良い日は30分もかからずにやかんのお湯が沸きました。スマートスプリッターは、子供でも女性でも薪が割れる、という道具。ロケットのような形をした斧の部分を持ち上げてただ落とすだけ。何度か繰り返すと、直径30cm以上の薪でも見事に割れました。震災以来、電気やガスを使わない方法を準備しておくことの大切さを感じている人は多いはず。薪割り機はあまり都会向きではありませんが、サニークッカーは畳んでしまえば収納場所もほとんどいらないので、お勧めです!



菜園のほうも賑やかな秋。さつま芋や里芋、椎茸、大豆などの実りを楽しんでいます。その一方で、冬を越す作物の植え時でもあります。高菜や玉葱、人参、えんどう豆、そら豆等々。田んぼが一段落しても、冬の前にやることはまだ目白押しです。家では障子の張替えや薪ストーブの煙突掃除などを寒くなる

前にしなくてはなりません。「今日は好きなだけ障子を破っていいよ！」と言ったところ、まあ楽しそうにビリビリとやってくれました。リフォームをしていない古民家での暮らしはラクではないですが、こういうのは楽しみの一つかもしれません。



農作業とは関係のないエピソードを一つ。南阿蘇村はお米だけでなく、そばの産地でもあります。毎年この時期に新そば祭りなるものが開催されます。新米もおいしいけれど、新そばもおいしい～！というわけで、子供たちを連れて行って参りました。ところがところが、財布を忘れてしまったのです…。予備で隠し持っていた、なけなしの千円札でかけそばを3杯買ったところ、「おかわりしたい！」と次男。え～、お金がないから、これからはじまる大食い競争に出てたっぷり食べて来てよ、と言ってみたところ、「いいよ」とのこと。エントリー用紙

に名前を書いたらすぐにプログラムが始まり、次男・連蔵(一番左)は第一レースに意気揚々と登場。5歳から8歳の5名が洗面器ほどのお椀に入ったそばを食べて早さを競うレース。始まってみると、普段はゆっくり噛み締めて食べるタイプの次男が、ものすごい勢いでそばをすすっているのではないですか。目を疑うやら呆れるやらしているうちに、なんと小学生を出し抜いて優勝。本人はそばをお腹いっぱい食べれた上に賞品のそばまでもらって大満足。いやはや、この先が思いやられます…。

さて、どうなることかと気を揉んでいた TPP の参加がついに決まってしまいました。避けることはできなかったのかもしれませんが、将来どうなっていくんだろう、という不安があるのは事実。自分で食べるものを作れない国になってしまったらどういうことになるか、考えただけで暗くなります。そうはいっても、決まってしまったものは仕方ありません。このところ、秋の夜長にギターを弾きながら懐メロにはまっている耕太。TPP 参加が決まったその日は、ジュリーこと沢田研二さんの「勝手にしやがれ」を熱唱していました。こうなりや歌うしかない、ってところですかね！？いえいえ、歌うだけ歌ってから、これからのことを真剣に考えたいと思います。皆さまからもご意見やアドバイスをぜひ伺いたいです。取り巻く状況は変わっていきませんが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

追伸：おかげさまで、我が家の三人息子が元気に七五三を迎えることができました。お天気にも恵まれて、家族全員で集落の氏神様にお参りし、ささやかにお祝いをしました。これから子供の成長とともに節目節目の行事が増えていくのでしようね。

